

ニュースリリース

2024年10月23日
株式会社ジャパントイムズ

10月30日開催
次世代教育セミナー2024
『未来を担う女性リーダーの育て方』
申し込み受付中！

定員100名 同時通訳つき the japan times

次世代教育セミナー 未来を担う女性リーダーの育て方

Cheltenham Ladies' College
Eve Jardine-Young氏

モデレーター	パネリスト	パネリスト	パネリスト	パネリスト	モデレーター	パネリスト	パネリスト	パネリスト
 DNX Ventures 高岡 美緒 氏	 特石インターナショナルスクール アドバイザー マイケル・ロブ・グレイ 氏	 カルティエ ジャパン 宮地 純 氏	 ロンバー・オディエ 信託株式会社 ビエール・イヴ・ロンバー 氏	 オックスフォード大学 アリソン・ビール 氏	 株式会社 Surpass 石原 亮子 氏	 株式会社資生堂 廣藤 綾子 氏	 サントリーホールディングス株式会社 高木 祐美 氏	 みずほフィナンシャルグループ 末吉 光太郎 氏

日時 2024.10.30 (水) 13:00 - 17:00

会場 ホテル・ニューオータニ 東京都千代田区紀尾井町 4-1

2023年、世界経済フォーラムの男女格差の現状を各国のデータをもとに評価した「Global Gender Gap Report」（世界男女格差報告書）によると、日本のジェンダーギャップ指数は146カ国中125位で、2022年の116位から9ランクダウンしました。特に政治や企業の管理者など、リーダー層の女性の比率が低いことは、国際的に知られている日本の課題です。

株式会社ジャパントイムズ（本社：東京都千代田区 代表取締役会長兼社長 末松弥奈子）では、この度、世界トップレベルの女性教育機関であり、今年170周年を迎える Cheltenham Ladies' College の校長、Eve Jardine-Young 氏を招聘し、未来を担う女性リーダーの育成に関するセミナーを開催します。

同校の教育理念や女性リーダーの育て方について語っていただく貴重な機会になるとともに、女性が活躍できる組織づくりに関して、幅広い知見や実践的な経験をお持ちの各界の有識者による2つのパネルディスカッションを併せて開催し、日本社会における女性の地位向上や社会進出に関する活動や、女子教育・海外留学などを推進する企業・団体の皆様にとって有益な事例の紹介や国内外の動向に関する情報提供を行います。

《概要》

日 時：10月30日（水）13時～17時予定

会 場：ホテル・ニューオータニ（東京都千代田区紀尾井町 4-1）

参加費：無料（懇親会参加費 3,000 円）

定 員：100 名

主 催：株式会社ジャパントイムズ

《プログラム》

開場（13:00）

開演（13:30）

基調講演

英国 Cheltenham Ladies' College 校長 Eve Jardine-Young 氏

パネルディスカッション①グローバルセッション

「女性が活躍できる組織の特徴とは（仮）」

モデレーター:

DNX Venture 高岡 美緒氏

パネリスト:

カルティエ ジャパン プレジデント&CEO 宮地 純氏

オックスフォード大学日本事務所 代表 アリソン・ビール氏

スイス ル・ロゼ元校長／神石インターナショナルスクール アドバイザー マイケル・ロ

ブ・グレイ氏

ロンバー・オディエ信託株式会社 代表取締役 ピエール・イヴ・ロンバー氏

パネルディスカッション②ジャパンセッション

「次世代に選ばれる組織の挑戦と成果（仮）」

モデレーター:

株式会社 Surpass 代表取締役社長 石原 亮子氏

パネリスト:

株式会社資生堂 執行役 エグゼクティブオフィサー チーフファイナンシャルオフィサー
(最高財務責任者) チーフ DE&I オフィサー 廣藤 綾子氏
サントリーホールディングス株式会社 人材戦略本部 DEI 推進部長 高木 祐美氏
みずほフィナンシャルグループ サステナブルビジネス部副部長 末吉 光太郎氏

閉会 (17:00 予定)

懇親会 (17:30 予定)

※プログラムは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

▼イベントの詳細・お申し込みはこちら

<https://sustainable.japantimes.com/event/bisd>

■ The Japan Times (ジャパントイムズ) について

The Japan Times は、1897年(明治30年)に創刊された、日本で最も歴史のある英字新聞です。1996年にホームページを開設。現在はソーシャルメディアも活用し、日本のいま、そして未来を、世界に向けて発信しています。読者は、国内在住の外国人に加えて、世界各国の政府高官やシンクタンクはもちろん、各国のメディアにも日本に関する信頼できる情報ソースとして活用されています。過去のアーカイブは、海外の大学や公立の図書館などで、日本やアジアの歴史研究に活用されています。

The Japan Times Online : <https://www.japantimes.co.jp/>

<問い合わせ>

株式会社ジャパントイムズエージェンシー
次世代教育セミナー事務局
E-mail: jtc-csinfo@japantimes.co.jp

<報道関係者>

担当：熊野
E-mail: pr@japantimes.co.jp